

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 3月23日

【評価実施概要】

事業所番号	1272200922
法人名	特定非営利法人 グループホーム陽だまり
事業所名	グループホーム 陽だまり
所在地	千葉県柏市高田999-22 (電話) 04-7149-5246

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成21年3月16日	評価確定日	平成21年4月6日

【情報提供票より】平成21年2月24日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 8月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	10 人	常勤	5 人, 非常勤 5人, 常勤換算 6.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦・亜鉛メッキ合板葺造り		
	2階建ての	1階	~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有() 円	○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 50,000円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		2,000円	

(4) 利用者の概要(2月24日現在)

利用者人数	6名	男性	1名	女性	5名
要介護1	0名	要介護2	1名		
要介護3	1名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 88.5歳	最低	82歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	千葉・柏・たなか病院、金森医院、たかだ歯科
---------	-----------------------

株式会社 日本ビジネスシステム

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

民家を改修した「グループホーム陽だまり」は、近隣の景色に溶け込み、地域に根ざした施設作りがなされている。また、法人の理事長が地域住民であり、近隣住民とは馴染みの関係が築かれている。地域行事には積極的に参加していると共に、ボランティアの来訪が数多くあり、外部との交流を盛んに行っている。事務長が柏市グループホーム連絡会の副会長を務めており、連絡会にて行なわれる勉強会や合同行事を通じて、入居者・家族・職員間の交流が行われている。職員は、家庭的な施設作りを努め、「してあげるケア」ではなく、「一緒に過ごすケア」の実践に取り組んでいる。また、入居者の希望に応じた柔軟な個別ケアを行い、入居者の生活の活性化を図っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	回の外部評価結果報告後に、職員会議にて話し合いを行ない、反省点や課題を取り上げ、サービスの質の向上に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価においては、管理者が作成をしている。また、外部評価の実施前に会議の議題に上げており、職員全員が評価の意義を理解している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	入居者、家族、町会役員、地域包括支援センター職員を構成員とし、同法人が運営する「グループホーム陽だまり寿の家」と合同で3ヶ月に1回開催されている。会議では、施設概要の説明や活動報告等が行なわれ、施設の地域理解の促進を図っている。また、意見・情報交換を行い、サービスの質の向上につなげると共に、地域へ災害時・緊急時の協力を呼びかけ、地域との連携体制の構築に努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情・相談窓口を設置していると共に、家族の面会時や電話した時に意見・要望等の確認を行なっている。また、運営推進会議を活用し、家族・地域・市からの意見・要望の確認を行なっている。挙げた意見・要望においては、職員会議にて周知・検討し、家族へ説明を行い、納得してもらっている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩の際は、近隣住民と挨拶を交わす関係が築かれており、ご好意でおすそ分けを頂く事もある。町会に加入しており、地域のお祭りや防災訓練に参加をしていると共に、地区の集会所にて行なわれるサロンに参加し、地域との交流を図っている。また、地域の中学生の体験学習を受け入れていると共に、小学校の運動会に招待されており、世代間交流が図られている。その他にもボランティアの来訪や地域の老人会の見学を実施する等様々な交流が行われている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	健やかな暮らしや地域社会に貢献しながら社会福祉の増進を図る事を主眼とした独自の理念を掲げ、職員全員が理念に沿ったサービスの提供を意識している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	採用時に理念の説明を行っていると共に、随時ミーティング等を通して理念の確認を行っている。また、運営推進会議・行事の時等に家族や地域の方々に理念の周知・確認を行なっている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営者が地域住民である為、地域の方々とは馴染みの関係ができています。散歩の際は、近隣住民と挨拶を交わす関係が築かれており、ご好意でおすそ分けを頂く事もある。町会に加入しており、地域のお祭りや防災訓練に参加していると共に、地区の集会所にて行なわれるサロンに参加し、地域との交流を図っている。また、地域の中学生の体験学習を受け入れていると共に、小学校の運動会に招待されており、世代間交流が図られている。その他にもボランティアの来訪や地域の老人会の見学を実施する等様々な交流が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果報告後に、職員会議にて話し合いを行ない、反省点や課題を取り上げ、サービスの質の向上に取り組んでいる。自己評価においては、管理者が作成をしている。また、外部評価の実施前に会議の議題に上げており、職員全員が評価の意義を理解している。		自己評価においては、管理者だけでなく、一般職員の意見を取り入れる事により、施設全体での気付きを得て、更なるサービスの質の向上に繋げて頂く事を望みます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者、家族、町会役員、地域包括支援センター職員を構成員とし、同法人が運営する「グループホーム陽だまり寿の家」と合同で3ヶ月に1回開催されている。会議では、施設概要の説明や活動報告等が行なわれ、施設の地域理解の促進を図っている。また、意見・情報交換を行い、サービスの質の向上につなげると共に、地域へ災害時・緊急時の協力を呼びかけ、地域との連携体制の構築に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事務長が柏市グループホーム連絡会の副会長を務めており、連絡会を通じて市の担当者との積極的な連携を図っている。市とは、業務、入居者に関する相談等を通して相互の信頼関係を構築している。また、市と連携し認知症サポーター養成講座を開催している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に生活状況・金銭管理・職員の異動等を報告している。また、生活状況に変化があった場合や必要時には随時電話等で報告している。報告の際には、写真等を活用し、より詳しく報告できるよう工夫している。行事案内を作成し、家族の参加を呼びかけている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情・相談窓口を設置していると共に、家族の面会時や電話した時に意見・要望等の確認を行なっている。また、運営推進会議を活用し、家族・地域・市からの意見・要望の確認を行なっている。挙げた意見・要望においては、職員会議にて周知・検討し、家族へ説明を行い、納得してもらっている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の入職・退職があった場合には、家族の面会時に紹介や報告を行なっている。入職した職員においては、慣れた職員と一緒に業務を行い、入居者とコミュニケーションを取れるよう配慮し、できるだけ早く馴染みの関係を築けるよう努めている。また、理事長・事務長が相談役となり、職員の意見や悩みを聞き、働きやすい職場作りに努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の案内を職員控室に掲示し、必要に応じて参加をしている。研修参加後は、報告会を行い、情報の共有化を図っている。柏市グループホーム連絡会にて、勉強会が開かれており、参加している。また、介護技術等においては、日々の業務の中で指導を行い、職員の質の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事務長が柏市グループホーム連絡会の副会長を務めている。連絡会では、勉強会・情報交換会・施設見学会等が開かれ、相互の質の向上が行なわれていると共に、コンサートや外出会等の行事を実施し、入居者・家族・職員間の交流が図られている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>施設見学を随時受け付けていると共に、希望に応じて体験入居を実施し、施設の方針や雰囲気を理解してからの入居を勧めている。入居後は、生活暦に合わせた支援を行ないながら信頼関係を築き、できるだけ早く施設に馴染んでもらうよう努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の希望や能力に応じて家事等の生活活動を共同で行っている。職員は入居者から人生経験や生活の知恵を学んでいると共に、「一緒に過ごすケア」の実践に取り組んでおり、共に支えあう関係が築かれている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の情報票を家族に作成してもらい、本人・家族の意向や生活暦を把握している。また、日々の観察や気付き等を申し送りノートに記入し、職員全員に周知している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員全員が交代で各入居者の介護計画作成に関わっており、管理者及び作成担当者話し合いながら介護計画を作成している。作成後は、家族に説明し、了承を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回の見直しを行っていると共に、生活状況に変化があった場合や見直しが必要と判断された場合はその都度見直しを行っている。見直しにおいては、職員全員が交代で各入居者の介護計画作成に関わっており、管理者及び作成担当者話し合いながら介護計画が作成されている。また、家族の意見や要望を随時確認し、意向に沿った介護計画の作成に取り組んでいる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の希望に応じて、買い物やドライブ等の外出を柔軟に支援している。2ヶ月に1回美容院を貸し切りにし、身だしなみの支援を行なっている。系列の「グループホーム陽だまり寿の家」とは、互いに行き来する関係が築かれており、合同行事等にて交流を図っている。また、柏市グループホーム連絡会の連携を活かし、コンサート・梅拾い・外出会等が行なわれ、他施設の入居者との交流が行なわれている。他にも、ボランティアの訪問や小中学生の職場体験等が実施され、入居者は様々な人とのふれあいを楽しんでいる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にも希望の掛かりつけ医の受診も支援している。地域の医師と連携し、定期的な往診を行っていると共に、24時間連絡を取ることが可能であり、適切な医療体制がなされている。看護師職員により、適切な健康管理が行なわれている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期における方針を承諾書に謳い、家族に同意を得ている。終末期においては、家族や医師と連絡・相談を行い、出来る限り本人・家族の意向に沿った終末期の支援を行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関する方針を掲げ、家族に同意を得ていると共に、個人書類においては、事務所にて保管し、個人情報保護に努めている。入居者に対しては申し送り・声掛けの方法に細心の注意を払い、入居者のプライバシーを損ねないよう配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活に日課は定めておらず、本人の意向・ペースに合わせて柔軟に対応している。希望の言い出せない入居者に関しては、希望を言いやすい環境作りに努め、会話の中から本人の意向を汲み取り対応している。また、家族から情報をもらい、職員間で検討し、本人の希望に沿った支援を行なっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物、調理、配膳、片付け等を共同で行っており、献立は職員を中心に、入居者の好み、希望を取り入れながら作成を行っている。定期的に外食会を企画・実施し食の楽しみを支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日実施し、希望に応じて回数・時間等は柔軟に対応している。また、足浴機の活用や清拭の実施にて、清潔保持を図っている。浴室にはエアコンが設置され、快適な入浴を支援している。入浴拒否に関しては、声掛けやタイミングを工夫し、無理強いせず、入浴してもらえよう努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	能力に応じて家事等の生活活動を共同で行っている。新聞取りやゴミ出し係を決め、役割を持った生活を支援している。入居者の希望に応じてレクリエーションを実施すると共に、季節に合わせた行事を企画・実施し、入居者の楽しみを支援している。また、菜園・唄・踊り・茶道等入居者の趣味や得意分野を活かした活動を支援しており、入居者の生活の活性化を図っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候に応じて散歩の支援を行なっていると共に、希望に応じて映画鑑賞・ドライブ・外食等の外出支援が行なわれている。散歩の付き添いボランティアの協力により、戸外に出掛ける機会を多く設けている。定期的に外出会を企画・実施し、戸外での楽しみを提供している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーチャイムを設置し、日中の施錠は行なわず、入居者の自由な生活を支援している。外に出た場合でも無理に引き止めず、見守りや声掛けにより柔軟に対応している。また、居室には鍵は設置していないが、入居者のプライバシーに配慮した対応を心掛けている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防署の協力のもと、年2回消防避難訓練を実施している。職員は救命救急講習を受講しており、緊急時対応を身に付けていると共に、運営推進会議等を活用し、地域に対して協力の呼びかけを行っており、災害・緊急時における協力体制を構築している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の好みや能力に合わせた食事提供を行っていると共に、食事及び水分摂取量を記録している。摂取量が少ない場合は、観察をし、必要に応じて間食や栄養補助食品の提供にて必要な栄養の確保に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家を改修した施設となっており、入居者にとって馴染み深く、家庭的な造りとなっている。リビングにはソファ・テレビが置かれ、入居者が思い思いにくつろげるよう配慮している。階段等の段差には目印や滑り止めテープを貼り、入居者の安全面に配慮している。また、庭には、季節の草花が植栽され、バーベキュー等を行なえるスペースとなっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が自由に馴染みのものを持ち込む事が可能となっており、居心地よく生活できるよう配慮している。全居室にエアコンが設置され、職員の操作により適切な空調管理がなされている。		